

教科	情報	学科	普通科	学年	1	年	必修科目
科目	情報Ⅰ			単位数	2	単位	
使用教科書	高等学校 情報Ⅰ(第一学習社)			副教材	情報Ⅰ学習ノート(第一学習社)		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)							
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力		論理的思考力	◎	傾聴力	
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	○
	基礎的読解力		創造力		洞察力		継続力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)	
学習の到達目標	・情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。							
	・問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。							
	・情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。							
	・							

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準	★4月～6月下旬までの学習内容		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
情報の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習	・定期考査 ・小テスト ・課題学習	・課題学習	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	第1章 情報社会の問題解決 第1節 情報の活用 1 情報とメディア 2 情報の検索と活用	・情報の重要性について理解する。 ・さまざまなメディアの特徴を知り、情報を収集するときの手段を選択する。 ・情報の受信者と発信者としてのあり方を理解する。 ・検索サイトの利用方法を知る。
5	第2節 個人の責任と情報モラル 1 情報セキュリティの重要性 2 情報モラル 3 情報に関する法規や制度	・情報セキュリティについて理解する。 ・SNSを使うことの利点と、使うことによって生じる問題点を知る。 ・知的財産権と著作権について知る。 ・不正アクセス禁止法について知る。
6	第3節 情報技術の役割と影響 1 情報技術と生活の変化 2 情報技術と未来の生活 前期中間考査	・情報技術によって、自分たちの生活がどのように変化してきたかを考える。 ・伝える情報を整理して、チラシを作成する。 ・SNSへの投稿に適切な文章を作成する。

★単元ごとの評価規準	★7月上旬～9月下旬までの学習内容			自己評価	実際評価
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度		観点	観点
情報の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		①	②
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか		③	③
・課題学習 ・小テスト	・課題学習 ・小テスト	・学習ノート			
7	第2章 コミュニケーションと情報デザイン 第1節 コミュニケーション手段の特徴 1 コミュニケーション 2 コミュニケーション手段と表現メディア	・情報の伝達手段を知り、ネットワーク上のコミュニケーションサービスについて知る。			

8	第2節 情報デザイン 1 情報デザインとは 2 わかりやすい表現	・情報デザインがわかりやすさや使いやすさに大きな影響を与えていることを知る。
9	第3節 コミュニケーションと効果的なデザイン 1 効果的な表現 2 情報デザインの実践	・デザインの作成を実施する。 ・コンピュータでの画像の扱い方を知る。 ・デザインの作成，共有と発信を知る。

★単元ごとの評価規準			★10月上旬～3月下旬までの学習内容					
①知識・技能			②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度		
情報の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。			職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
★何で評価するか ・課題学習 ・小テスト			★何で評価するか ・課題学習 ・小テスト			★何で評価するか ・学習ノート		
10	第3章 コンピュータとプログラミング 第1節 コンピュータの仕組みと働き 1 コンピュータと数 2 コンピュータの働く仕組み 3 さまざまなデータをコンピュータで扱う		・コンピュータ内部では2進法が使われていることを知る。 ・ハードウェアとソフトウェアの関係を知る。 ・数しか扱うことができないコンピュータが、どのように文字や画像を扱っているかを考える。					
11	第2節 モデル化とシミュレーション 1 モデルとモデル化 2 コンピュータとシミュレーション		・具体的な例を通じて、いろいろなシミュレーションを知る。					
12	第3節 プログラムと問題解決 1 アルゴリズム 2 アルゴリズムの工夫		・コンピュータはプログラムで動いていることを知り、アルゴリズムの考え方の基本を理解する。 ・プログラムの作成と改良を体験する。					
1	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 第1節 情報通信ネットワークのしくみ 1 情報を送受信する仕組み 2 インターネット上のサービスの仕組み 3 情報セキュリティの方法		・コンピュータネットワークのしくみについて理解する。 ・プロトコルというものがあることを知る。 ・クライアントとサーバの関係を知る。 ・Webのしくみ、電子メールのしくみを知る。					
2	第2節 情報システムとデータ管理 1 情報システム 2 データベース 3 データの収集と整理		・社会で使われている情報システムの背景には、しくみとしてデータベースが使われていることを理解する。 ・データの種類や尺度水準を知り、データを活用するための基礎知識を知る。					
3	第3節 データの分析と活用 1 データの分析 2 データの活用		・データを分析するための手法を知る。					

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

★最終評価総括(自己評価／実際評価)					
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度	

自己評価総括			実際評価総括		
①	②	③	①	②	③

◎前期振り返り	◎後期振り返り	▶備考